

家庭で育まれていること、これからも育んでほしいこと

◇保護者の支えがあって、育まれてきたこと

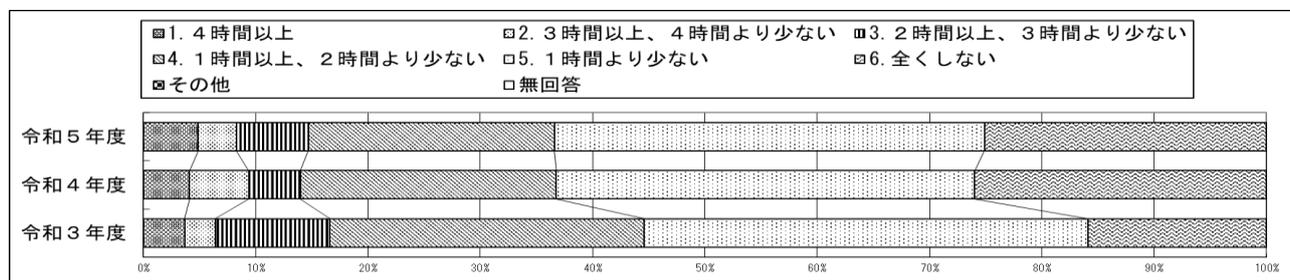
ここ数年の経年変化のデータにより、家庭における基本的な生活習慣においては、保護者の家庭での協力によって、規則正しい生活を送っている児童・生徒が多い傾向が見られます。児童・生徒のよりよい成長につなげるためには、家庭と地域の協力が必要となります。これまで家庭で取り組んできた積み重ねが着実に成果として表れています。

しかしながら、土曜日や日曜日など学校が休みの日の学習時間の取組において、1時間未満の児童については約60%、生徒については約40%と低い結果が見られました。

また、地域との関わりについて、【児童質問紙（25）、生徒質問紙（29）「今住んでいる地域の行事に参加している」】では、コロナ禍の影響も受け、こちらも低い結果が見られました。この部分については、学校・学級と地域が相互に課題を認識、共にその解決に取り組んでいくことが必要です。

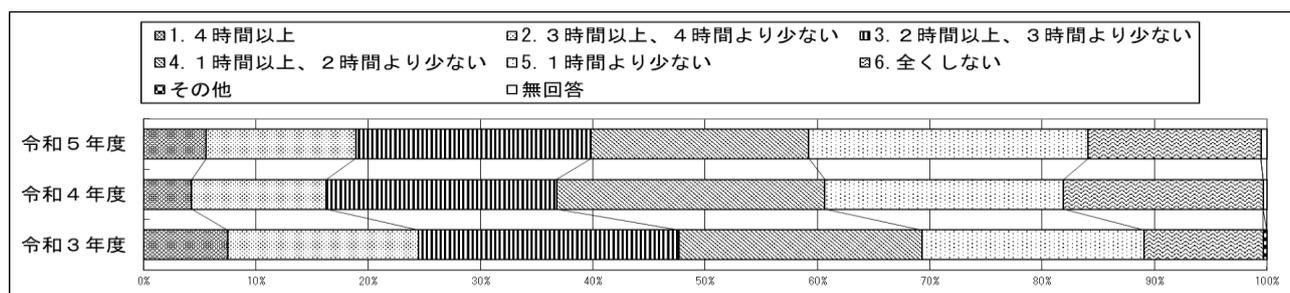
【小学校児童質問紙】

質問番号	質問事項										
(18)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	1時間未満(5+6)	9	その他	無回答
令和5年度	4.9	3.4	6.4	21.9	38.3	25.1		63.4		0.0	0.0
令和4年度	4.1	5.3	4.6	22.8	37.3	26.0		63.3		0.0	0.0
令和3年度	3.7	2.7	10.2	28.0	39.5	15.9		55.4		0.0	0.0



【中学校生徒質問紙】

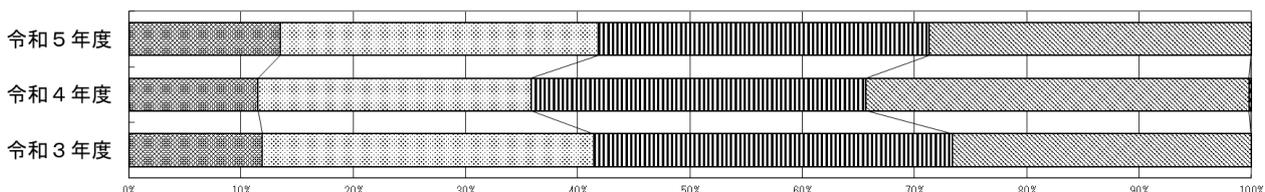
質問番号	質問事項										
(18)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	1時間未満(5+6)	9	その他	無回答
令和5年度	5.6	13.3	21.0	19.4	24.9	15.4		40.3		0.0	0.5
令和4年度	4.3	12.0	20.5	23.9	21.3	17.8		39.1		0.0	0.3
令和3年度	7.5	17.0	23.2	21.6	19.8	10.6		30.4		0.3	0.0



【小学校児童質問紙】

質問番号	質問事項										
(25)	今住んでいる地域の行事に参加していますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和5年度	13.5	28.3	29.5	28.7				41.8		0.0	0.0
令和4年度	11.5	24.3	29.8	34.1				35.8		0.2	0.0
令和3年度	11.9	29.5	32.0	26.6				41.4		0.0	0.0

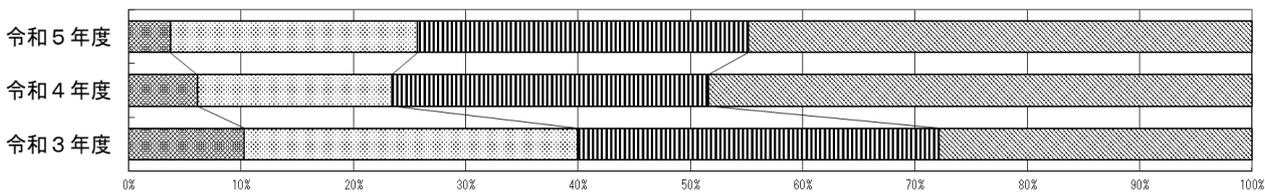
■1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない ■4. 当てはまらない ■その他 □無回答



【中学校生徒質問紙】

質問番号	質問事項										
(29)	今住んでいる地域の行事に参加していますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和5年度	3.7	22.0	29.4	44.8				25.7		0.0	0.0
令和4年度	6.1	17.3	28.2	48.4				23.4		0.0	0.0
令和3年度	10.3	29.6	32.2	27.8				39.9		0.0	0.0

■1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない ■4. 当てはまらない ■その他 □無回答



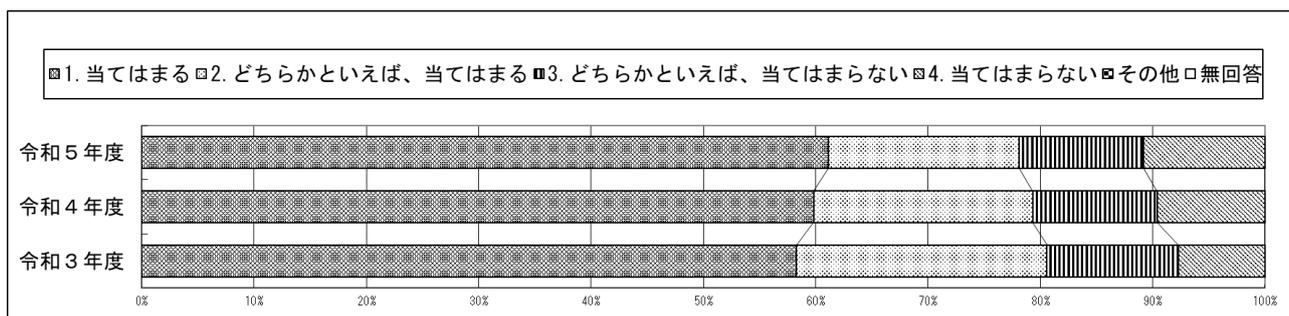
◇家庭での会話で育んでいきたいこと

【児童・生徒質問紙(7)「将来の夢や目標をもっている」】では、例年とほぼ変わらない割合の傾向が見られ、「どちらかといえば当てはまらない」又は「当てはまらない」と答えている児童・生徒がいます。近年の社会は、グローバル化、情報化、少子化、高齢化等を背景に、社会構造の大きな変動期を迎えており、変化のスピードもこれまでになく速くなっています。変化の激しいこれからの社会において、一人ひとりの子どもたちがそれぞれの可能性を伸ばし、自立した個人として心豊かにたくましく生き抜いていく基礎を培うことが重要です。家庭での会話を通して、子どもが自分に自信をもち、物事に対して前向きな気持ちで取り組むことができるよう、他の子どもと比較するのではなく、その子が持っている個性やよさ、頑張りなどを認め、子どもの自尊心、自己肯定感を高められるような関わり方の継続が大切です。さらに、話す機会を確保することによって、現在の子どもの様子や状況について理解することができるとともに、「考えて、発信す

る」という場が必然的に生じます。家庭においても、話す機会と時間を確保して、児童・生徒にとっての思考力を伸ばしていくためにも、話す機会を大切にしてほしいと思います。

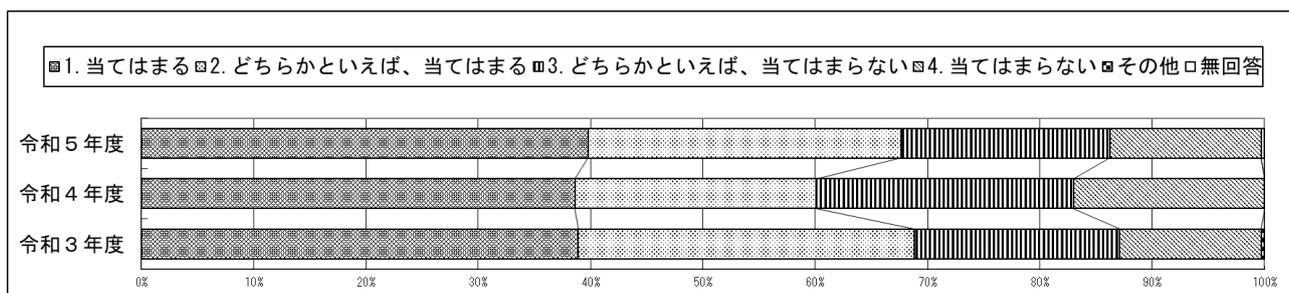
【小学校児童質問紙】

質問番号	質問事項										
(7)	将来の夢や目標を持っていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和5年度	61.2	17.0	11.1	10.8				78.2		0.0	0.0
令和4年度	59.9	19.5	11.1	9.6				79.4		0.0	0.0
令和3年度	58.3	22.3	11.7	7.7				80.6		0.0	0.0



【中学校生徒質問紙】

質問番号	質問事項										
(7)	将来の夢や目標を持っていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和5年度	39.8	27.9	18.6	13.5				67.7		0.0	0.3
令和4年度	38.6	21.5	22.9	17.0				60.1		0.0	0.0
令和3年度	38.9	29.9	18.3	12.6				68.8		0.3	0.0



学校で育まれていること、これからも育んでいくこと

◇先生と児童・生徒との温かい関わりの中で、育まれていること

今年度の質問紙調査結果や日頃の小・中学校の様子から児童・生徒と先生の信頼関係の高さが見られます。これは寒川町の強みとして、今後も大切にしていきたいところです。

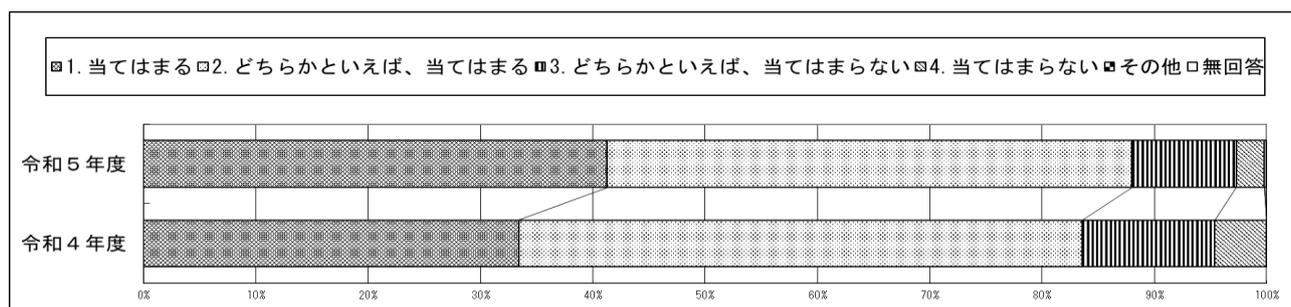
【児童生徒質問紙(5)】「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」からは、多くの児童・生徒が先生から認められていると感じていることがわかります。また、【児童生徒質問用紙(10)】「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」では、小学校・中学校ともに全国平均よりも多くの児童・生徒が「当てはまる」又は「どちらかといえば当てはまる」と答えています。このような信頼関係が素地となって、学級・学校での文化が育まれていきます。児童・生徒にとって、信頼関係がある中で、安心して学ぶことができるという基盤があることは重要なことです。そのような環境の中で、難しいことでも挑戦しようという気持ちが育まれている様子が伺えます。

そして、日頃から児童・生徒に声をかけて励ましたり、わかりやすい説明となるように工夫したりする教師の陰ながらの努力があります。このような日々の積み重ねによって、あきらめないで取り組むという姿勢が育まれていくと考えられます。教師が児童・生徒一人ひとりに対して、丁寧に関わることで、学習に対する意欲がわき、児童・生徒もあきらめずに取り組もうとする粘り強さが育まれていくと考えられます。教師の姿がまさに子どもの姿として表れています。

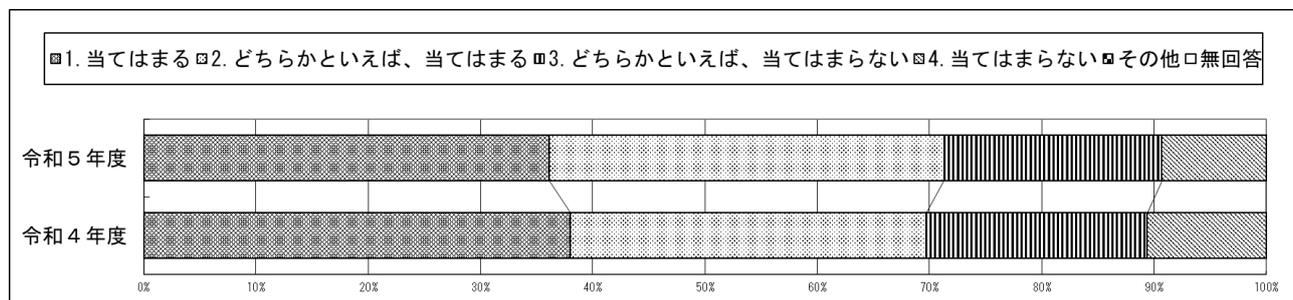
3つの育成すべき資質・能力における「学びに向かう力」が大切にしている側面に、粘り強さがあります。この「学びに向かう力」は、家庭と学校のしっかりとした生活の基盤があつてこそ、育まれていくものです。家庭における規則正しい生活習慣の確立と、教師が児童・生徒一人ひとりに対して、温かく丁寧に接することによって、物事に対してあきらめない前向きな姿勢を育成していくことができると考えられます。

【小学校児童質問紙】

質問番号	質問事項										
(5)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和5年度	41.3	46.7	9.3	2.5				88.0		0.0	0.2
令和4年度	33.4	50.2	11.8	4.6				83.6		0.0	0.0

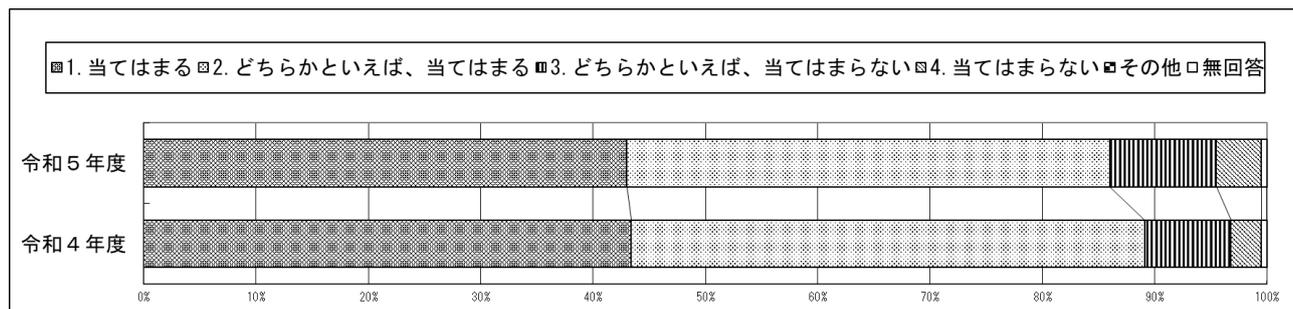


質問番号	質問事項										
(10)	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和5年度	36.1	35.1	19.4	9.3				71.2		0.0	0.0
令和4年度	38.0	31.7	19.7	10.6				69.7		0.0	0.0

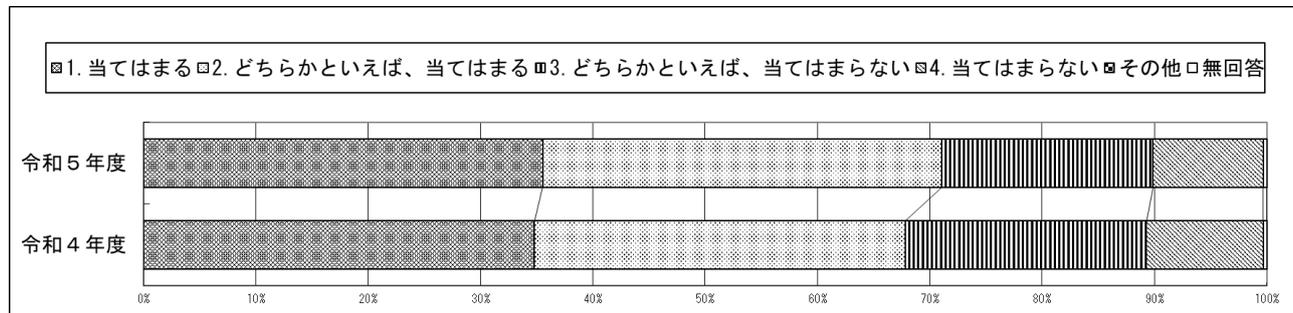


【中学校生徒質問紙】

質問番号	質問事項										
(5)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和5年度	43.0	43.0	9.5	4.0				86.0		0.0	0.5
令和4年度	43.4	45.7	7.7	2.7				89.1		0.0	0.5



質問番号	質問事項										
(10)	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和5年度	35.5	35.5	18.8	9.8				71.0		0.0	0.3
令和4年度	34.8	33.0	21.5	10.4				67.8		0.0	0.3



主体的・対話的で深い学びの授業改善を通して育まれたこと、これからも育んでいきたいこと

「主体的・対話的で深い学び」の授業改善においては、各校での継続的で熱心な取組が児童・生徒質問紙調査の結果に表れています。

寒川町の各小・中学校では、校内研究において児童生徒の資質・能力の育成に向けて、ICT機器を最大限活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて研究に取り組んでいます。また、さむかわ学びっ子推進委員会において、各校の校内研究の様子や状況について、情報交換を通して、互いの学校に持ち帰って参考としながら、さらに研究を深めています。町内全小・中学校で、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて研究に取り組むことができていることは、とても価値のあることです。教科調査の分析結果からは、各教科に共通して「情報を読み取る」「理由を記述する」「思考すること」「説明すること」に課題があることが見えてきました。「思考力・判断力・表現力等」を育んでいくためにも、「主体的・対話的で深い学び」の授業研究を深めていくことが大切です。

しかしながら、我々が求めていることは「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善が目的ではなく、寒川の子どもたちに育まれるべき、3つの資質・能力を育成することが目指すべきゴールとなります。「どんな子どもに育てていきたいか」を常日頃より意識し、よりよい授業づくりに向けて取り組む必要があります。

今後も、校内研究や学びっ子育成推進事業を柱として、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取組をさらに推進して、子どもたちの資質・能力を育むとともに、教師の授業力を向上させていきたいと考えています。

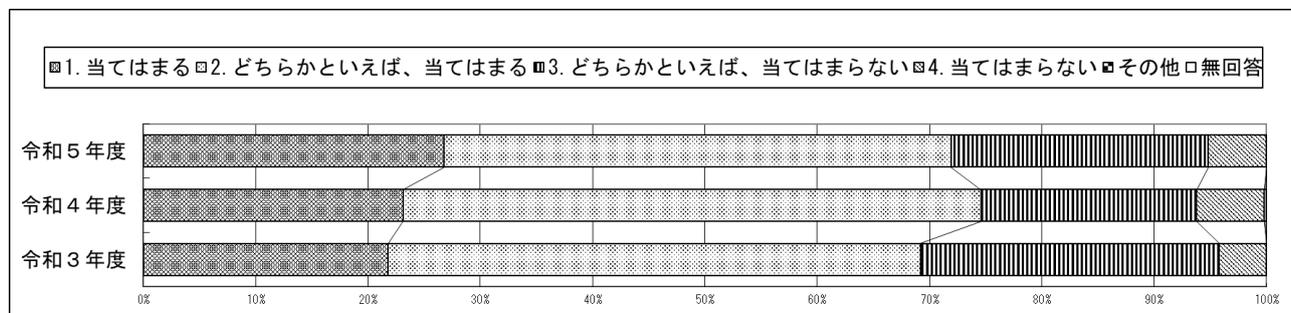
教室を離れても学び続ける子どもの姿を・・・

【児童質問紙(37)・生徒質問項目(41)「学習した内容について、わかった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか】では、「授業で学んだことを、次の学習に生かすことができる」、つまり学校での学びを振り返り、繋げることで、他の教科と関連づけたりしながら、活用していく姿がイメージできます。

今日、先を見通すことが難しい時代を生き抜くために、子どもたちには、「自分で課題を見つけ、対話をしたり新しい情報を取り入れたりする中で調整していく力」が必要となります。また、これから先、学習したことをどのように活用できるかが大事となってきます。学校では、単に知識を獲得するのではなく、学んだことを活用したり考えを伝え合ったり、さらにそこから自分の考えをまとめ、調整する学習を充実させ、「生きて働く知識」となるように努め、さらには「学びを教室という狭い空間」で完成させるのではなく、「教室を離れても学び続ける姿」を、意識しながら授業を創っていくことが必要であると考えます。家庭や地域でも、子どもたちのがんばりを認め、温かい言葉かけを行い、安心して様々な物事にチャレンジできる環境づくりにご協力をお願いします。

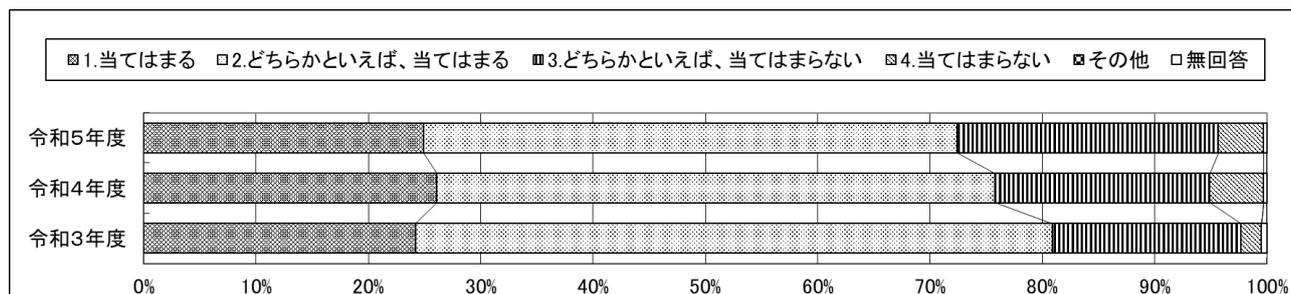
【小学校児童質問紙】

質問番号	質問事項										
(37)	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和5年度	26.8	45.2	22.9	5.2				72.0		0.0	0.0
令和4年度	23.1	51.4	19.2	6.0				74.5		0.0	0.2
令和3年度	21.8	47.4	26.6	4.2				69.2		0.0	0.0



【中学校生徒質問紙】

質問番号	質問事項										
(41)	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和5年度	24.9	47.5	23.3	4.0				72.4		0.0	0.3
令和4年度	26.1	49.7	19.1	4.8				75.8		0.0	0.3
令和3年度	24.2	56.7	16.8	1.8				80.9		0.0	0.5



以上のように、児童・生徒の努力、保護者の支え、地域の協力、学校における授業改善の実現によって、寒川の子どもたちの資質・能力が少しずつですが、着実に積み上げられてきていることがわかります。学校、地域、家庭が、子どもたちの未来のために、これからは同じ方向を向いて、一緒に手を取り合って取り組むことが必要です。

今後も、それぞれの立場で適切な役割を果たしつつ、パートナーとして、未来の宝である「寒川の子どもたちのため」に連携、協力していきたいと思います。